

平成22年度教師海外研修 募集要項

北陸
地域



本研修は、国際理解教育・開発教育に関心のある教員の方々を対象として、開発途上国の社会・教育事情や開発途上国で行われている様々な国際協力活動の現場視察と、学校での国際理解教育に役立てていただくための国内研修を組み合わせたプログラムです。

児童・生徒の国際理解、国際感覚の養成に役立てたいとお考えの先生方、ぜひご応募ください。

海外研修国：ウガンダ共和国

海外研修日程：平成22年8月3日（火）～平成22年8月13日（金）

主催：独立行政法人国際協力機構 北陸支部（JICA 北陸）

後援：文部科学省 外務省

富山県教育委員会 石川県教育委員会 福井県教育委員会



研修のねらい

JICA は、これまでの国際協力事業を通じて培った経験や人材、ネットワークを活用し、学校現場（総合的な学習の時間、社会科等）において取り組まれることが期待される諸外国との関係理解や異文化理解について、教育関係者の方々と積極的に協力していきたいと考えています。

本研修は、教育関係者の皆様に、開発途上国が置かれている現状、日本との関係や国際協力への理解を深め、その成果を、次代を担う児童・生徒の国際理解教育に役立ててもらうことを目的としています。

研修日程

	日 程	場 所	内 容
事前 研修	第 1 回 平成 22 年 6 月 12 日(土) 第 2 回 平成 22 年 7 月 10 日(土)	JICA 北陸 または金沢市内の研修施設	研修目的等の説明、JICA 事業の概要、開発課題の説明、開発教育を理解するためのワークショップ、研修国事情、昨年度の研修参加者による体験談、渡航手続き、安全対策、海外研修日程説明、参加者間の意見交換等
海外 研修	平成 22 年 8 月 3 日(火) ～8 月 13 日(金) (現地 8 泊)	ウガンダ共和国	JICA 事業の視察及び JICA 関係者との交流、現地の学校訪問及び交流、研修国の文化社会事情の視察、生活体験、現地の生活雑貨・教材等の収集等
事後 研修	平成 22 年 9 月中旬	JICA 北陸	海外研修経験を活かした国際理解授業作り
報告会	平成 23 年 2 月中旬	北陸 3 県内の研修施設	海外研修報告及び国際理解授業実践報告

* 海外研修の日程は諸事情により前後する場合がありますので、ご了承下さい。

応募資格

次の全ての条件を満たす方に応募資格があります。

- ① 富山県、石川県、福井県の国公立、私立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・高等専門学校・特別支援学校の教師及び教育委員会の指導主事等で、原則として、応募締め切り時点で年齢が満 50 歳以下の方（年齢については考慮される場合がありますので、事前にご相談ください）
- ② 授業やクラブ活動等で国際理解教育・開発教育を実践されている方、もしくは、帰国後必ず本研修の経験を実践に活かせる方
- ③ 本研修の趣旨・目的を十分理解し、国内で実施される各種研修および海外研修における JICA 事業の視察等、全研修に参加可能な方
- ④ 所属する学校の校長もしくは教頭（教育委員会であれば所属長）の推薦が得られる方
- ⑤ 海外研修国の事情を勘案した上で、全海外研修行程に参加するに耐えうる健康状態である方
* 既往症や治療中の疾病・傷病がある場合、応募前に主治医と十分協議してください。場合によっては、医師の診断書の提出を求めることがあります。
- ⑥ 今後、JICA が実施する教員対象研修会およびエッセイコンテスト等の国際理解教育・開発教育支援事業へ可能な限り協力いただける方
- ⑦ 過去に本研修、JICA ボランティア、JICA 専門家、ODA 民間モニター等、JICA から海外に派遣された経験のない方

研修の様子

海外研修先では、驚き・発見・感動の連続

現地の人々と交流・生活体験



海外研修後の先生方の感想

国際協力の現場を体感

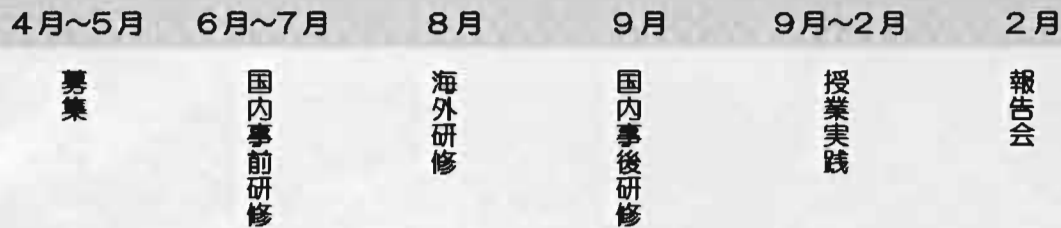


これまでの主な視察先

- ・ 学校 ・ 孤児院
 - ・ 青年海外協力隊の活動先
 - ・ 一般家庭 ・ 市場
 - ・ JICA プロジェクト現場
(インフラ整備、農業開発等)
- * 視察先は研修国や年度によって変わります。

- ・ 見た目には貧しく映りはしたものの、心までは貧しくなかったと感じた。逆に日本社会の方が、間違いなく心の貧困が進んでいると感じた。
- ・ 協力隊員の方に出会い、自分自身深く感銘を受けました。現地の人々のために尽力されている方がいるという、そのことを伝えたいです。

1年間の流れ



その感じた世界を教室の子ども達へ

ウガンダとテレビ電話を使って直接の交流



先生が現場で行った水運びを実体験



授業後の先生方の感想

- ・ 海で大きく隔たれている国同士だが、同じ時代を共に生きている仲間として、確かに互いが存在していることを実感できたようだ。
- ・ 何よりも「自分たちにもできることはたくさんある」と思わせたかった。そういう意味では生徒達は今回の学習に真剣に取り組み、たくさん考えていた。

国内研修でも、開発教育（国際理解教育）について理解を深めます。

開発教育の参加型手法を体験



授業実践前にみんなで授業案を検討



研修の様子は、JICA 北陸のホームページでもご覧いただけます。
また、参加者の研修報告及び授業実践報告は冊子として発行しておりますので、ご希望の方はJICA 北陸までご連絡下さい。



参加費用

参加者の個人負担と JICA の負担は、下記のとおりです。

個人負担経費	JICA負担経費
<ul style="list-style-type: none">・ パスポート取得費用・ 予防接種料（必要に応じて）・ 国内研修時の食費・ 現地での宿泊費及び食費・ 追加保険の加入費用・ その他個人的性格の費用 <p><現地での宿泊費及び食費の目安> 食費（一食） 現地食…3US\$、外国人向け…10US\$ 程度 宿泊（一泊） 首都…60～100US\$、地方都市…50US\$ 程度</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 国内研修時の研修先までの交通費・ 海外研修出発および帰国時の空港までの交通費（宿泊を伴う場合は宿泊費）・ 航空運賃・ 旅行雑費（査証料、空港使用税など）・ 国内旅行損害保険及び海外渡航時の保険料・ 現地視察に必要な費用（交通費や施設入館料など）

募集人数・海外研修国

8名 ウガンダ共和国

応募方法および応募締切

所定の「平成22年度教師海外研修（北陸地域）応募用紙」に必要事項をきれいに記入の上、
平成22年5月21日（金）必着で JICA 北陸にご送付ください。

* 応募用紙は JICA 北陸ホームページからもダウンロードできます。

URL : <http://www/jica.go.jp/hokuriku/index.html>

選考

平成22年6月上旬までに選考結果を通知します。

報告書の提出について

- ① 帰国後2週間以内に海外研修報告書（所定様式）を提出していただきます。
- ② 2月上旬までに国際理解授業実践報告書を提出していただきます。
なお、報告書の内容については JICA ホームページに掲載・一般公開いたしますので、予めご了承下さい。

その他注意事項

- ① 本事業は研修旅行であり、JICA における労災保険等の適用はありませんが、JICA において必要最低限の国内・海外保険料の負担をします。所属先の業務出張扱いにて参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の業務上災害に対する補償措置を行ってください。
- ② JICA は出張命令依頼書等の発出を行いません。
- ③ 研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者に迷惑をかける者、決められた活動に参加する意思のない者については、国内研修中、海外研修中を問わず、研修対象者としての資格を失うことがあります。特に、海外研修中に研修対象者としての資格を失った場合、移動・宿泊に係るキャンセル料等は、当該者の全額負担となります。また、旅費も当該者の負担となりますのでご了承ください。

申込・お問い合わせ先

JICA 北陸 (開発教育担当)

住所：〒920-0853 石川県金沢市本町 1-5-2 リファール (オフィス棟) 4F

Tel : 076-233-5931 Fax : 076-233-5959

E-mail : jicahric-kaihatsu@jica.go.jp

研修国概要

国名：ウガンダ共和国



面積：24.1 万平方キロメートル (ほぼ本州大)

(陸地面積 19.7 万平方キロメートル)

人口：3,092 万人 (2007 年) (世銀)

首都：カンパラ (標高 1,312 メートル)

民族：バガンダ族、ランゴ族、アチョリ族等

言語：英語、スワヒリ語、ガンダ語

宗教：キリスト教 (6 割)、伝統宗教 (3 割)、イスラム教 (1 割)



情報：外務省HPより